

### 変更(案)の考え方

令和2年1月、大阪府、大阪市、公立大学法人大阪による新大学基本構想を策定。

- これを踏まえ、今回、中期目標を変更し、大阪市立大学と大阪府立大学の統合による新大学を2022年度に設置する旨を明記。
- 新大学の基本的役割（教育・研究・社会貢献）や、大阪の発展に貢献する2つの新機能（都市シンクタンク機能や技術インキュベーション機能）、国際力の強化などの内容を目標に追加。



両大学の統合等に関する目標を明記した「第7」について、新大学に関する事項を追加。

## 第7 両大学の統合等に関する目標

### 1 両大学の統合による新大学実現へ向けた取組の推進

- 2022年度に新大学を設置する旨を明記。
- 教育研究組織については、「まずは両大学の同種分野の融合を着実に進める」、「選択と集中の視点を入れつつ、時代の要請に応じて学部、研究科等の設置を検討する」と記載。
- キャンパス再編及びそれに伴う整備については、府、市及び法人で緊密に連携して取り組んでいく旨を記載。

#### (変更前)

世界的な大学間競争を勝ち抜き、より強い大阪を実現するための知的インフラ拠点として存在感を高めるため、「新・公立大学」大阪モデル(基本構想)を踏まえ、世界に展開する高度な研究型の公立大学を目指し、2022年度を 目途とする両大学の統合による新大学の実現に向け準備を進める。

特に、教育研究組織の検討を着実に進めるとともに、 キャンパス再編については、大阪府、大阪市及び法人間 で緊密に連携して取り組んでいく。



#### (変更後)

世界的な大学間競争を勝ち抜き、より強い大阪を実現するための知的インフラ拠点としての存在感を高めるため、「新大学基本構想」を踏まえ、大阪の発展をけん引する「知の拠点」となる新大学を2022年度に設置する。 両大学の統合にあたっては、ガバナンスを強化して取り組み、その効果を最大限発揮する。

教育研究組織については、まずは両大学の同種分野の融合を着実に進める。

さらに、幅広い学問体系を擁する総合大学としての特性を踏まえながら新大学の強みと特徴をより明確に打ち出すため、有限の人材、財源、大学設備等の資源を最大限に有効活用することにより、 選択と集中の視点を入れつつ、時代の要請に応じて学部、研究科等の設置を検討する。

キャンパス再編及びそれに伴う整備については、大阪府、大阪市及び法人間で緊密に連携して取り組む。

## 2 両大学の連携の推進

- 両大学の統合に向けて、「都市シンクタンク」機能や「技術インキュベーション」機能の充実・強化に向けた体制整備に取り組む旨を明記。

## 3 新大学に関する目標

- 新大学基本構想において示している、新大学の基本的役割(教育・研究・社会貢献)、2つの新機能(都市シンクタンク機能及び技術インキュベーション機能)、国際力について各々新たに記載。

### 3 新大学に関する目標

#### (1) 大学として求められる基本的役割のさらなる強化

##### ア 教育に関する目標

- 社会変化に対応する人材や世界で活躍する高度な専門性を有する人材を育成
- 教養や専門的能力、情報収集・分析力、行動力、自己表現力の5つの力を身に付け、社会の中で発揮できる人材を育成するための科目群を体系的に配置するなど、基幹教育の充実、強化を図る

##### イ 研究に関する目標

- 理系・文系・医療系の幅広い学問体系を擁する総合大学としての強みを活かし、基礎から応用までの一貫した研究を充実する
- 世界をリードする先端研究や、分野の垣根を超えた複合的研究・異分野融合研究の開拓・推進に重点的に取り組む

##### ウ 社会貢献等に関する目標

- 各教育機関や研究機関、行政機関、産業界等との連携を強化し、大阪における産学官ネットワークの中核的存在となることをめざす

#### (2) 大阪の発展に貢献する2つの新機能の整備

##### ア 都市シンクタンク機能に関する目標

- 高度化、複雑化する様々な都市課題に対し、これまでの研究で培われた高度な知見を活かしつつ、パブリックデータの分析や産学官ネットワークの活用などを通じ、府、市等と密接に連携しながら大阪の都市課題解決に貢献

##### イ 技術インキュベーション機能に関する目標

- 理学・工学・農学・医学・獣医学・生活科学等、様々な分野の強みを持ち寄り、企業連携を進め、新たな研究に取り組むことにより大阪産業の競争力強化に貢献

#### (3) 国際力の強化

高度な研究力を基盤とし、海外の大学等と連携し、研究を推進するなど、国際競争力を強化する取組を展開する。